

## COLUMN: 先生紹介 ▶ 伊藤 喜章 (諸口教室)



皆さん、はじめまして。覚えて下さっている方ご無沙汰しております。

今年度より改めて開智総合学院の講師となりました伊藤です。現在、諸口教室に勤務しております。

改めてというのも、10年前に私はカイチの今福教室で小学生の理科社会を教えておりました。私がいた頃は、関目教室ができたくらいの頃で、当時教えていた生徒達も卒業し、社会人になって、カイチの講師になっている方もおります。

教室も諸口教室・今津教室と増え、個別指導やトーキングキッズ、はては予備校まで出て、私が

いた頃とは随分様変わりしています。時の流れとカイチの進学塾としての成長に非常に驚いているところです。

これもひとえに今通っている生徒達、親御さん、カイチを卒業していったOB・OGの先輩方、そして、たくさんの生徒を合格させ、卒業させていった講師の方々のお陰だと思います。本当にこのような素晴らしい塾に戻ってこられたことに深い喜びを感じます。

新年度でいるいる変わる中、私もまだ数週間しかおりませんが、見ていく中で、カイチで変わっていないものがあります。

それは、生徒のひたむきさ・まじめさです。私が教えている当時、小テストや診断テストで点数を取れなかった子が、自分で弱点をみつけ、先生に教えてもらい、理解を重ねていった結果、



成績上位者となり、嬉しそうに帰っていく姿を何度も見てきました。

今現在、部活や家の用事で大変でも、毎日遅れてでも授業に出席し、夜遅くまで先生に質問し、わかるまで残っている生徒達を見ると、昔のあの頃と生徒は違えど、変わっていない、むしろそういう生徒がたくさん増えているように感じます。

これから先、多くの生徒が、時につまずき、失敗をしていく中で、あるきっかけによって、信じられないくらいの成績を残し、合格していくことが多くあることでしょう。

私も微力ながら生徒の成長に貢献出来たらと考えておりますので、何卒宜しくお願いいたします。



## 対馬のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 対馬 秀彦 (カイチ予備校、今福教室) 「M先生の思い出」

以前、全国規模の模擬試験の数学編集者として働いていたことがあります。その中で、日本全国の多くの先生方に出会い、色々なことを学ばせていただきました。

お会いした先生方の中で、最も記憶に残っている先生にM先生がいます。M先生にお会いしたのは、もう15年以上前ですが、その時すでに90歳を超えておられました。非常に聡明な方で、数学の知識は驚くほど深く、広いものでした。私は数学的に深い考察が必要な場面に出くわすと、必ずM先生のご自宅にお邪魔して相談をしていました。

先生は東京帝国大学(「東京大学」ではなく、「東京帝国大学」というところに時代を感じます)をご卒業され、戦時中は軍隊で飛行機の設計に関わる仕事をされておられました。その当時の日本の最高峰の頭脳をお持ちだったので、軍隊の中でかなり重要な仕事をされていたようです。

飛行機が好きだったM先生は、戦後、「やはり飛行機の仕事がしたい」と思っておられました。戦争に負けた日本では飛行機の製造は許されませんでした。海外に出て飛行機に関わる仕事を探すことも考えられたようですが、病気がちだったこともあり、断念されました。その後、ある県の高校で教師の職を得て、そこで数学を教え始めます。日本の自動車産業が発展していく時代の中で、自動車会社からの誘いもあったようですが、結局、定年まで教壇に立ち続けられました。

M先生とはほとんど数学の話しかしなかったのですが、一度だけご家族のお話をされたことがあり

ます。次のようなお話です。

自分は人生の前半は好きな飛行機の仕事をして、途中でそれをあきらめざるを得なかったが、人生の後半で教員の仕事をしてよかったと思っているんだ。多くの生徒に数学の楽しさを伝えることは、自分の生きがいであったし、充実した人生だった。90年以上生きてきたが、仕事面で自分に悔いはない。

ただ一つ、人生の中で後悔しているのが、息子の結婚に反対してしまったことだ。自分の息子が結婚したいと言ってきた時、相手の女性は離婚歴があり、子供もいる方だった。今の時代なら珍しいことではないのだろうが、その当時は離婚する人自体が少なかったため、自分はその結婚に反対してしまった。半年ぐらいいもめたが、結局、息子はその人とは結婚しなかった。息子は今も独身で、もう結婚することはないだろう。あの時、自分が結婚に反対してしまったことを本当に後悔している。息子には悪かったと思っている。本当に取り返しのつかないことをしてしまった。

対馬君は、これから子供を育てていくわけだし、部下を育てていかないとけない。教師として教壇に立つこともあるかもしれない。その時にね、自分の子供、自分の部下、自分の生徒が人生の大きな決断で、「こうしたい」と言ってきた時には絶対に反対してはいけないよ。こういう職業につきたい、こういう学校にいきたい、この人と結婚したい、そういう大きな決断の時に、親が、上司が、教師がしてよいのは助言だけ。色々相談にはのるし、その道

の厳しさは伝えるべきだけれど、絶対に反対してはいけない。色々厳しいことを言ったとしても、必ず「最後は自分で決めるんだよ」と言ってあげないといけないよ。だって、自分の人生なんだからね。

このようなお話でした。M先生とは、本当に長い時間一緒に過ごさせていただきましたが、ご家族のお話をされたのはこの一度きりでした。私はもってこのお話を聞きたかったのですが、何か聞いてはいけないことのような気がして、それ以降、話題にはできませんでした。100歳を超えるまで元気だった先生も、5年ほど前に他界されたので、本当に一度きりのお話になりました。ただ、この一度きりのお話は今も私の心に強く残っています。

近年、合格実績のために本人の希望と異なる受験をすすめる塾や学校があるのは、よくないことだと感じています。「本人の考えを尊重する」、そういう姿勢が塾にも学校にも必要なはず。そういう姿勢を持たずに進路指導をするのは、子供を道具とみているのと同じです。

今年度から、カイチのグループに高校生専門校舎「カイチ予備校」が加わりました。熊谷真宏先生を中心に、多くの先生が教えておられます。高校生の進路選択では、志望校選択の前に、文系・理系の選択があります。また、どの学部を目指すのかの選択もあります。カイチ予備校の先生方は、様々なキャリアの先生がおられるので、勉強内容だけでなく、将来の職業をふまえた進路相談にも丁寧にこたえてくれる先生ばかりです。ただ、カイチの先生方は、色々なアドバイスをした後、きつこう言うはず。最後は自分で決めるんだよ。



▲正多面体の分子モデル

# 生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

# Growing

May 2018 Vol. 69 毎月10日発行

## 春の大仙公園遠足 普段は見られない 子供達の横顔に出会えました。



▲たくさんのご参加。ありがとうございました！

今回の遠足のテーマは、「挑戦と協力」。子供達には、グループに分かれてもらい、様々なことに挑戦し、お互いの強みを活かしながら協力し、それを乗り越えるよう工夫しました。遠足企画責任者は川西先生、リーダーは若い小幡先生と井上先生でしたが、万全の準備と段取りの良さで、トラブルもなく、引率の私達も遠足を思いっきり楽しむことができました。

午前中は、オリエンテーリング。ただ、普通のオリエンテーリングではなく6つのチェックポイントには先生達が待っており、「指令」が出され、それをクリアしたら次に進みます。

チェックポイントまでは渡された地図で、グループの仲間達と考えながら行きますが、なかなかチェックポイントの先生が見つからない。生徒からは「オーがなない！」などと言われましたが、まあ、先生達もただの中年のおじさんだから仕方ありません。チェックポイントでは、それぞれ計算、パズル、英会話、果ては腕相撲など様々なお題が用意され、それをグループの中の誰かがクリアしなければなりません。

私は計算のチェックポイントの担当でしたが、驚いたのは、英語でペラペラに自己紹介してくる女の子がいたこと。1年生で英検準2級を持っているのですが、発音もよくカッコいい。また、同じように、そろばんの2年生の男の子がチェックポイントの計算問題で「234+365+478+873」のような問題を暗算であっさり正解したのに、別の先生が「なんでできるの!」と驚く。教室で見ている私達は、子供達の一面しか見ていない。そう感じた瞬間でした。

お昼ご飯を食べてからは、ドッチボール大会と大縄飛び大会。これはとにかく盛り上がりました。教室では比較的大人しい子も、ドッチボールになると闘志むき出し、大きな声でチームを盛り立てます。また、教室では目立たなくても、スポーツが抜群にできる子や、ボールを上手に取れない子や年下の子に、ボールを投げられるようにパスしてあげるなど、周りを気遣う場面など

今年は、桜の花が早く散り、春を通り越してすっかり夏のような陽気に恵まれています。気持ちいい日が続きますが、皆さんいかがお過ごしですか。私達は去る4月22日(日)大仙公園に、生徒達と春の遠足に行ってきました。遠足当日は、みんなの日頃の行いが良かったのか快晴! 最高の遠足日和となりました。

も見られ、意外で素敵なお子達の姿をたくさん見る事ができました。ドッチボールの結果は、低学年の優勝が今福チーム、高学年は古市Bチーム、大縄跳びは、低学年の優勝が今福チーム、高学年が今津Aチームでした。

高学年の決勝戦は、全員が見守る中で実施しましたが、スゴイ緊張感の中、教室対抗応援合戦状態となり、公園で遊んでいる人達は何かと思ったに違いありません。



▲軽やかなジャンプがかっこいい!

大縄跳びは、一人ずつ2分間で飛べた回数の総数で競いましたが、今津Aチームが2分間に106回、抜群のチームワークとリズム感で、優勝を決めました。これに関しては、動画でお見せしたいほど素晴らしかった。準優勝の今福Bチームも、決して悪くはなかったのですが、今津チームは1度引っかけた以外はノーミスで飛びました。上手に跳べば、縄跳びがこんなにカッコいいとは。縄跳びのすごさを見せてもらいました。

今回の遠足では外国人の先生達も引率で参加し、子供達が外国人の先生達とできるだけコミュニケーションを取れるよう配慮しました。中には、英語がとても上手な子供達がいて、カトリーナやシルバーと自然に会話を交わしていました。また、他の子供達も、英語が話せないながらも、外国人の先生達と関わりを持てたことは良い経験になったのではないかと思います。

最後に、参加した子供達の態度が良かった。今回、低学年で知っている友達がいなくて、遠足に参加してくれた子供達がたくさんいました。私達もミーティングなどでそのような生徒達をマークするようにはしていましたが、実際にはその必要はありませんでした。子供達は、オリエンテーリングのグループで親しくなり、共にお弁当を食べ、律儀に大切なお菓子を私達に分けてくれました。

「子供達は、私達大人の予想以上に自立し、逞しい。」  
そんな、普段は見られない子供達の横顔がたくさん見られた遠足でした。



▲ドッジボール大会、大興奮!!



▲大縄飛び優勝!今津チーム

- 5月2日(水)・30日(水)は小学診断テストです。
- 5月中旬より各中学で中間テストが実施されます。それに伴い塾内では定期テスト対策を実施いたします。お子様の学習の様子に不安があります時は各教室にご遠慮なくご相談ください。
- 5月12日・19日(土)・26日(土)※学校により9時間自習日は異なります。)は中学生対象で9時間自習を13時~22時で行います。みんなで頑張りましょう。
- 6月8日(金)・9日(土)は全コース休講日です。



## Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

## 新年度で心機一転、 今福教室の生徒の皆さんの様子

川西 久志 (今福教室長)

すっかり、夏を思わせるような陽気な季節になってきましたが、皆さんはいかがお過ごしですか?今年も例年よりも暑い夏になるそうです。今福教室は、新年度から60名以上の新入生を迎え教室の活気も急上昇中です。今回はそんな今福教室の様子をお伝えさせていただきます。

### バスカルキッズ



バスカルキッズには、今年たくさんの幼稚園児童が入会してきました。まだ、授業準備をするのにも時間がかかりますが、教室では自分のことのできるだけ自分でさせ自立を促すように指導しています。パズルを置く指もまだ、ただただしく感じますが、「あーでもない、こーでもない」と考える時間は確実に伸びています。ブロックやお金タイルの数のトレーニングでは、みんな大きな声で「7」「12」などの声が響き、時に出す難しい数認知の問題(ブロックで塊として数を認識するトレーニング)では、ブロックの周りを動き回り、うんうん言いながら好奇心たっぷりの表情でブロックの数を考えます。この子達の多くが、1年後には「45-27」や「386+256」などを暗算できるようになるのですから、子供達の能力の素晴らしさには驚きます。毎回、少し意地悪な問題を出して、子供達の思考力を丁寧に育てたいと思います。

### 珠算部



今年は、カイチ全体でそろばんクラスが大ブレイクで例年以上の新入生を迎えています。今福教室でもたくさんの、幼稚園・1年生達が入会してきました。今は、そろばんの練習はもちろんですが、授業にさっと入るための準備、片付け、授業か

らゲームのコーナー、ゲームのコーナーから授業などの切り替えがさっとできるよう指導をしています。この時に利用するのがカラーカード。先生が何も言わなくても、さっと準備に入りスタンバイOKの手を頭の上にごきたら1枚、お片付けをして手を頭の上に置いたらまた1枚、自分が次に何をしなければならぬのか、先読みをして動く。一見難しそうですが、子供達はあっという間に理解しテキパキ行動しています。

中級・上級ではそろばん日本一を数多く輩出している浦和のそろばん塾USAのアバカサーキットという教材を使い、速算・暗算のトレーニングを実施しています。毎回合計点を記録し、自己ベストを目指しながら練習していますが、このプリントのポイントは、そろばんで置いた問題は1問1点。暗算で置いた問題は2点貰えること。子供達は難しい問題でも暗算で置くようになり、暗算力が飛躍的に伸びています。毎回答案を持っていく子供達の成長に内心驚きながら「まだ甘ーい!もつとできる!」と撒を飛ばす、そんな毎日です。

5月・6月は検定練習に切り替え、全員1つ進級を目標に指導します。

### 学習部



小学部、中学部の生徒達は、集中するべき時はしっかり聞き、雑談など盛り上がる時は盛り上がる、メリハリのきいた良い雰囲気、先生も楽しく指導させてもらっています。3月にちらほら見られた宿題忘れも4月にはすっかり減り、線の引き方やノートの取り方などに慣れてきたように思います。

中学生は5月にいよいよ中間テストがあります。中学1年生にとっては、初めての定期テストですが、3週間前より学習計画を立て、3時間自習や直前土曜日の9時間自習などはハードに感じるかも知れません。しかし、最初からしっかり取り組むことで、自分なりの定期テストに対する基準(点数はもちろん、学習時間なども)ができ、今後の取組みが変わります。



クラブ活動に本格的に取り組み始める時期でもありますので、私達もできるだけ声かけを行い、子供達の様子を見ながら指導していこうと思います。ご家庭においても、何か心配なことがありましたら私達にお声かけください。

中学3年生はレベル別受験講座の第1タームが終了しました。「きつい」と感じた人も多かったのではないかと思います。受験では夏休みに入る前までに、中1・中2の基礎事項を習得しておくことがポイントとなります。受験に出題される問題の多くは、単元内容が複合している応用問題です。ですから、本格的な受験問題演習は単元内容の習得なしではできません。クラブとの両立を行いながら、受験勉強に取り組むことは辛いかも知れませんが、みんなが嫌がる今だからこそ、他の受験生との差が出る時期でもあります。また、レベル別講座では、受験勉強のスケジュールと学習法を指導しています。正しい計画と学習法で学ぶことは成績アップの近道です。邪魔臭いと感じても、素直に聞き入れ取り組んでください。今、身に付けた学習法は、高校入試だけでなく大学入試でも必ず役に立ちます。先生達と共に一歩ずつ頑張りましょう。



### 保護者の皆様へ

5月病という言葉があるように、5月は新しい人間関係や、クラブの疲れが出るときです。特に中学1年生は「初めて」の連続です。子供達の様子に変化がないか、普段よりも注意深く見てあげてください。もし、心配なことがある場合には、遠慮なく当塾までお電話ください。

## Education



## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

## リニューアルしたTK(トーキングキッズ) みんな英検合格に向けて頑張っています!!

小田 忠 (統括教室長・今津教室長)

4月初旬はまだまだ寒さが感じられる日もありますが、最近さわやかな初夏の風が吹くようになってまいりました。

TKの授業はさわやかな初夏の風ではなく、英語の習得に向けて、6月の英検受験者は受験級合格に向けて、受講生の「やる気」と言う名の熱気で真夏のように熱い授業が繰り広げられております。



既にご存知の方も多いかと思いますが、TKでは3月より「英検合格」を目指した講座にリニューアルいたしました。リスニングとスピーキングは外国人講師が指導し、文法やリーディング、ライティングは高校受験に精通したプロの日本人講師が指導。英検取得を目標としながらも、将来の受験英語に対応し、なおかつ英会話力が向上するプログラムとなっております。



現在、リニューアルした講座を3月から実施し、2ヶ月が経過しました。指導をして一番驚いたことは小学生が英語を習得していくスピード。初學者の小学4年生が2ヶ月で中1で学習する単元が一番難しいと言われる、3単元のsを習得。1月のテストで英検5級に合格したばかりの小

学3年生が中学2年で学習する不定詞を学習し、問題を解いている。中学生を指導しているの、「中学生と比べるとどうかなあ。中学生でも難しい箇所があるのに大丈夫かな?」と思っていたのですが、私の予想は大きく覆されました。「早いのにわかってる。中学生と何も変わらない。いや、中学生より早い子もいる。」と生徒の前でつぶやいてしまうほど、私が想像していた以上にすごいスピードで習得していきます。

ただ進むだけではなく、まとめテストなどを入れて、復習の機会も作っているの、きちんと理解もしています。違うといえば、書くスピードぐらいいでしょう。高学年ともなれば理解力、暗記力は本当に中学1年生と同じ。小学生の能力恐るべしです。

そして、外国人の講師が担当しているクラスでは、恥ずかしがって私とはあまり話さない生徒も身振り手振りを使って、英語を使っている。何とかカトリナ先生やシルバ先生に伝えようとそれこそ必死になって。でも、すごく楽しそう、笑顔が絶えない授業です。授業の回を重ねる毎に、使える言葉が増えていく、外国の人と話ができるようになっていく、つながるのがまた楽しいようです。



もちろん、英検取得に向けて本気で指導しているのですが、「あれやれ、これやれ」と先生が般若の面のような顔でずっと指導しても、子供達は嫌になるだけです。本気の指導の中に楽しさがあることで、子供達の英語に対するモチベーションを上げていくことができる指導ができていたのではないかと思います。英語を勉強していると英検や資格取得が目的になってしまうことが多いですが、本当は英語圏の人々とコミュニケーションを取る楽しさが語学を勉強する大きな意味の一

つだと私は考えています。ですから、カイチでの指導は本当に意味があるものだ実感しています。昔、こんな英語塾があれば通いたかったと指導していても思います。



中学以上になると入試等で英語があるのは決まっていますので、英語から離れることはありません。小学生のうちからしっかり英語力の基盤を作っておけば、高校受験は元より大学やその先、社会に出た時に大きな自分の武器になると思います。そして、外国人とコミュニケーションを取る楽しさを小学校のうちから学んでおけば、もっと英語に興味を持ち、将来は英語力を駆使して働きたいと思う子も出てくるかもしれません。生徒の皆さんの可能性を大きく広げるツールに英語がなるかもしれません。

英検合格、英語力向上を目指して通塾してくれている生徒の皆さんを全力で指導していきます。6月に受験者全員が合格できるように頑張ります。

